

福島再生加速化交付金(福島定住等緊急支援)  
/福島定住等緊急支援交付金

定住緊急支援事業計画の実績に関する評価

令和 6年6月  
福島県 富岡町

(様式1)

定住緊急支援事業計画に基づく事業等の評価一覧

令和6年6月時点

1) 事業の実施概要

(単位:千円)

Table with 12 columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 基幹/効果促進, 事業実施主体, 全体事業費(注3), 全体事業期間(注4), 年度事業費(注5) (平成29年度, 平成30年度, 平成31年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和4年度, 令和5年度), 評価実施時期(注6), その他.

2) 事業計画に記載した地域の復興における支障の解決に係る目標(注7)

Table with 12 columns: 指標, 従前値(基準年度), 目標値(目標年度), 実施後の値(確認年度), 達成度, モニタリング方法, 効果発現要因(総合所見), 今後の対応, 備考(注8).

3) その他目標(2)に掲げたもの以外の目標(注7)

Table with 12 columns: 指標, 従前値(基準年度), 目標値(目標年度), 実施後の値(確認年度), 達成度, モニタリング方法, 効果発現要因(総合所見), 今後の対応, 備考(注8).

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業こととの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は定住緊急支援事業計画に記載された事業名を記載する。

(注3)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費と交付対象事業費をそれぞれ記載する(交付対象事業費は()で記載)。

(注4)「全体事業期間」は、事業着手年度から全ての事業内容が完了する年度までを記載する。

(注5)「年度事業費」は、事業着手から事業完了年度までの各年度の交付対象事業費と全ての事業費の実績額をそれぞれ記載する(交付対象事業費は()で記載)。

(注6)「評価実施時期」は、定住緊急支援事業計画に基づく事業等が完了した日の属する年度の翌年度の12月末日までの実施した時期を記載する。

(注7)2)には定住緊急支援計画に記載した内容を、3)には定住緊急支援計画に全く記載をしていないものの、今回の整備により期待される効果があれば記載する。

なお、A-1,B-1.2,C-1事業については、子どもたちが十分に運動する機会の確保の観点、C-2,C-3については子育て世帯の定住に資する観点から、維持管理や運営の視点、ソフト事業との相乗効果などの面も含め目標を記載する。

(注8)「備考」の欄には、当該目標の評価対象となる事業番号を記載する。

# 個別事業等実績評価シート

|      |     |          |        |         |          |
|------|-----|----------|--------|---------|----------|
| 県名   | 福島県 | 交付期間     | 平成30年度 | 交付対象事業費 | 10,306千円 |
| 市町村名 | 富岡町 | 実績評価実施時期 | 令和6年度  | 評価対象事業  | A-1-1    |

## 1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

富岡第一小学校の遊具を更新することにより、放射線への不安から外遊びの機会が失われていたが、子どもの運動機会を確保し、もって子どもたちの健全な運動習慣の定着(肥満児童数の減少・運動能力の向上)を図る。

### 【区域全体図】

福島県双葉郡富岡町管内図



A-1-1  
富岡第一小学校遊具更新事業

### 【事業詳細】

#### (1) 事業概要

小学校の体育授業、休み時間等における外遊び・運動機会の増加を図り、子どもたちの体力向上と安心して遊べる施設の整備を行うため、既存の2連高鉄棒1基、6連低中鉄棒1基、はんとろ棒1基、雲梯1基、ジャングルジム1基、ブランコ(4人用)1基を更新する。

□施設名: 富岡第一小学校

#### (2) 事業の実施状況

□ 工期: 平成30年8月1日～平成30年11月30日 □ 完成日: 平成30年11月30日 □ 利用開始日: 平成30年12月14日

#### □ 利用状況

体育の授業や休み時間等に児童達が利用している。その他、地域の方も参加して実施される行事等の際は一般開放している。

#### (3) 人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係

##### □ 人口の状況

###### 【実施前】

本町の震災前(平成23年2月末日)の住民基本台帳登録人口(以下「住基人口」という。)は、15,960人(外国人を除く。)であったが、原子力事故により、依然として町内一部の地域の避難指示が継続されており、平成30年10月1日時点の住基人口は13,136人まで減少しており、前年同時期から538人減少している。

###### 【実施後】

令和元年10月1日時点の住基人口は12,829人、前年同時期と比較し307人の減少、令和5年10月1日時点の住基人口は11,558人、前年同時期と比較し266人と減少しているが、避難指示解除済み地域の生活環境の向上により人口流出の比率が減少している。

##### □ 肥満児童の割合

###### 【実施前】

小学校1年生から6年生までを対象とした平成26年度の健康診断の結果、「肥満」と診断された生徒の割合は、男子53.33%、女子37.50%となっており、長期に渡る避難生活により肥満生徒が増加している。

###### 【実施後】

小学校1年生から6年生までを対象とした令和3年度の健康診断の結果、「肥満」と診断された生徒の割合は、男子30.00%、女子31.58%、令和5年度の健康診断の結果は、男子26.67%、女子15.00%と、運動機会の増加により年々改善が見られる状況となっている。

##### □ 体力テストの総合評価

###### 【実施前】

小学校1年生から6年生までを対象とした平成26年度の体力テストの総合判定A・Bの割合は、男子11.11%、女子0.00%となっており、震災前と比較して運動能力が低下している。避難による運動機会の減少が子どもたちの体力低下などに顕著な影響を与えている。

###### 【実施後】

小学校1年生から6年生までを対象とした令和3年度の体力テストの総合判定A・Bの割合は男子30.00%、女子38.89%となっており、令和5年度においては、男子21.74%、女子39.13%と、運動機会の増加により運動能力の改善が図られた。

#### (4) その他

□ 富岡町くらし向上委員会(令和元年7月30日開催)における意見

帰還した子ども達が安心して体を動かすことができる環境が必要であり、遊具の機能回復が図られたことは評価。利用促進に向けた更なる取組に期待する。



更新した遊具



休み時間に遊具で遊ぶ児童

### 事業計画推進による効果・変化(注2)

○従前値と比較し、小学生の肥満傾向児童割合では、R3年度で男子で23.33%改善、女子は5.92%改善、R5年度で男子で26.66%改善、女子は22.5%改善と改善傾向は顕著であるが、目標値と比較するとR5年度で男子63.25%、女子77.83%の達成度となっている。また、小学生の体力テストの総合判定A・Bの割合についても、従前値と比較して男子でR3年度で18.89%、女子で38.89%改善、R5年度で男10.63%、女39.13%改善となっており、目標値と比較すると男子50.40%、女子105.19%の達成度となり、女子においては目標値である全国平均を上回った。多くの指標において、目標値の達成は敵わなかったものの、遊具の機能回復を図ったことにより、子どもたちの遊び・運動機会の創出が図られ肥満傾向児童の割合が減少し、運動能力の向上が見られた。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

- 授業を通じて、継続的な運動による肥満解消の重要性や運動の楽しさを伝えることにより、更新した遊具や整備した施設の更なる利用促進を図る。目標達成に向け今後もフォローアップを行う。
- 各個人の体力に応じた運動プログラムを作成することにより、運動能力の向上に取り組む。

(注1) 様式1の(2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2) 様式1の(2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

# 個別事業等実績評価シート

|      |     |          |        |         |         |
|------|-----|----------|--------|---------|---------|
| 県名   | 福島県 | 交付期間     | 平成30年度 | 交付対象事業費 | 4,793千円 |
| 市町村名 | 富岡町 | 実績評価実施時期 | 令和6年度  | 評価対象事業  | A-1-2   |

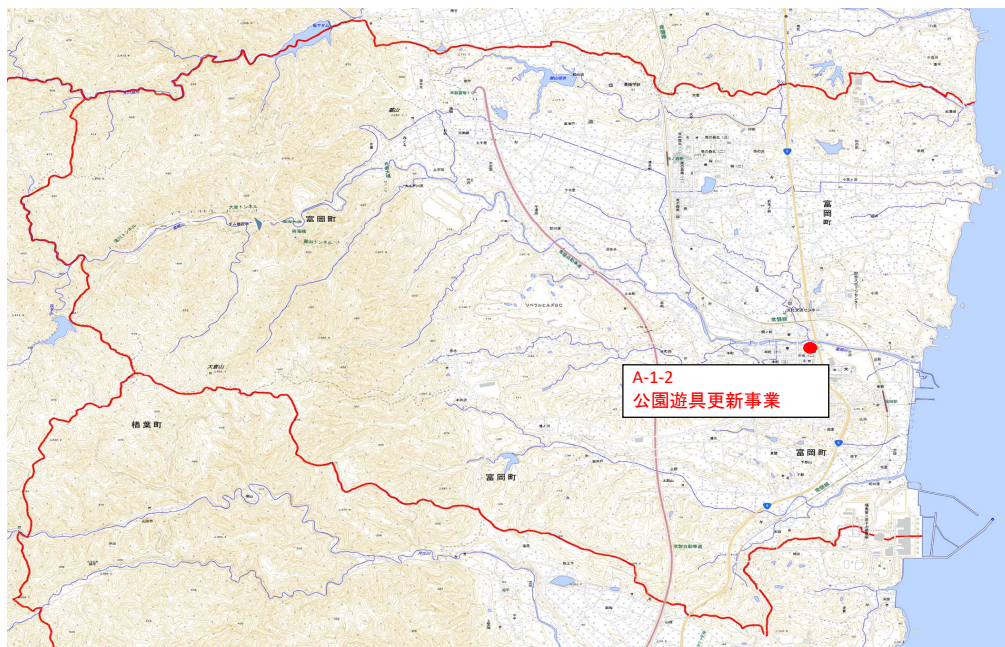
## 1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

児童公園の遊具を更新することにより、放射線への不安から外遊びの機会が失っていたが、子どもの運動機会を確保し、もって子どもたちの健全な運動習慣の定着(肥満児童数の減少・運動能力の向上)を図る。

### 【区域全体図】

福島県双葉郡富岡町管内図



A-1-2  
公園遊具更新事業

### 【事業詳細】

#### (1) 事業概要

地域における外遊び・運動機会の増加を図り、子どもたちの体力向上と安心して遊べる施設の整備を行うため、岡内東児童公園遊具(2人用ブランコ1基、ロッキング遊具1基、複合遊具((すべり台+登り棒)1基)の更新を行う。

□施設名: 岡内東児童公園

#### (2) 事業の実施状況

□ 工期: 平成30年11月1日～平成31年3月15日 □ 完成日: 平成31年3月15日 □ 利用開始日: 平成31年3月16日

#### □ 利用状況

災害公営住宅等地域で暮らす子ども達が利用している。

#### (3) 人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係

##### □ 人口の状況

###### 【実施前】

本町の震災前(平成23年2月末日)の住民基本台帳登録人口(以下「住基人口」という。)は、15,960人(外国人を除く。)であったが、原子力事故により、依然として町内一部の地域の避難指示が継続されており、平成30年10月1日時点の住基人口は13,136人まで減少しており、前年同時期から538人減少している。

###### 【実施後】

令和元年10月1日時点の住基人口は12,829人、前年同時期と比較し307人の減少、令和5年10月1日時点の住基人口は11,558人、前年同時期と比較し266人と減少しているが、避難指示解除済み地域の生活環境の向上により人口流出の比率が減少している。

##### □ 肥満児童の割合

###### 【実施前】

小学校1年生から6年生までを対象とした平成26年度の健康診断の結果、「肥満」と診断された生徒の割合は、男子53.33%、女子37.50%となっており、長年に渡る避難生活により肥満生徒が増加している。

###### 【実施後】

小学校1年生から6年生までを対象とした令和3年度の健康診断の結果、「肥満」と診断された生徒の割合は、男子30.00%、女子31.58%、令和5年度の健康診断の結果は、男子26.67%、女子15.00%と、運動機会の増加により年々改善が見られる状況となっている。

##### □ 体力テストの総合評価

###### 【実施前】

小学校1年生から6年生までを対象とした平成26年度の体力テストの総合判定A・Bの割合は、男子11.11%、女子0.00%となっており、震災前と比較して運動能力が低下している。避難による運動機会の減少が子どもたちの体力低下などに顕著な影響を与えている。

###### 【実施後】

小学校1年生から6年生までを対象とした令和3年度の体力テストの総合判定A・Bの割合は男子30.00%、女子38.89%となっており、令和5年度においては、男子21.74%、女子39.13%と、運動機会の増加により運動能力の改善が図られた。

#### (4) その他

□ 富岡町くらし向上委員会(令和元年7月30日開催)における意見

帰還した子ども達が安心して体を動かすことができる環境が必要であり、遊具の機能回復が図られたことは評価。利用促進に向けた更なる取組に期待する。



更新した遊具



遊具で遊ぶ子ども達

### 事業計画推進による効果・変化(注2)

○従前値と比較し、小学生の肥満傾向児童割合では、R3年度で男子で23.33%改善、女子は5.92%改善、R5年度で男子で26.66%改善、女子は22.5%改善と改善傾向は顕著であるが、目標値と比較するとR5年度で男子63.25%、女子77.83%の達成度となっている。また、小学生の体力テストの総合判定A・Bの割合についても、従前値と比較して男子でR3年度で18.89%、女子で38.89%改善、R5年度で男10.63%、女39.13%改善となっており、目標値と比較すると男子50.40%、女子105.19%の達成度となり、女子においては目標値である全国平均を上回った。多くの指標において、目標値の達成は敵わなかったものの、遊具の機能回復を図ったことにより、子どもたちの遊び・運動機会の創出が図られ肥満傾向児童の割合が減少し、運動能力の向上が見られた。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

- 授業や保育を通じて、継続的な運動による肥満解消の重要性や運動の楽しさを伝えることにより、更新した遊具や整備した施設の更なる利用促進を図る。目標達成に向け今後もフォローアップを行う。
- 各個人の体力に応じた運動プログラムを作成することにより、運動能力の向上に取り組む。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

# 個別事業等実績評価シート

令和6年6月時点

|      |     |          |              |         |                |
|------|-----|----------|--------------|---------|----------------|
| 県名   | 福島県 | 交付期間     | 平成31年度～令和2年度 | 交付対象事業費 | 401,068千円      |
| 市町村名 | 富岡町 | 実績評価実施時期 | 令和6年度        | 評価対象事業  | B-1-1、◆B-1-1-1 |

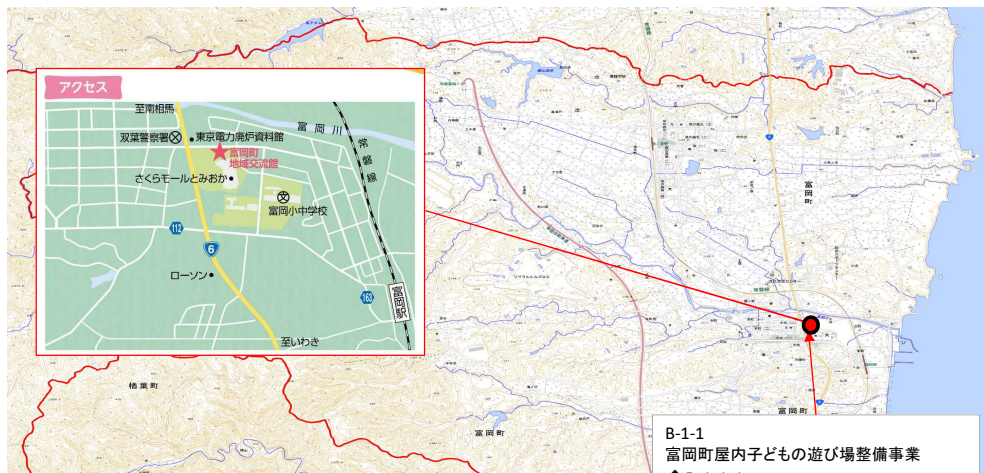
## 1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障を解決するための目標(注1)(注2)

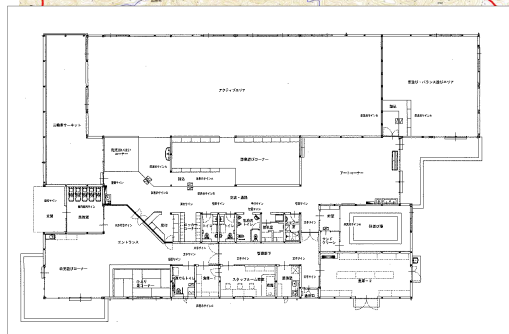
天候や空間線量、大型車両等に関する不安に左右されず、安心して子どもたちが遊ぶことのできる屋内遊び場を整備することで、子どもの運動機会の確保と運動習慣の定着による体力向上を図るとともに、子育て世帯が安心して帰還し、住み続けることが出来る環境を整える。

### 【区域全体図】

福島県双葉郡富岡町管内図



B-1-1  
富岡町屋内子どもの遊び場整備事業  
◆B-1-1-1



### 事業計画推進による効果・変化(注2)

- 従前値と比較し、小学生の肥満傾向児童割合では、R3年度で男子で23.33%改善、女子は5.92%改善、R5年度で男子で26.66%改善、女子は22.5%改善と改善傾向は顕著であるが、目標値と比較するとR5年度で男子63.25%、女子77.83%の達成度となっている。また、小学生の体力テストの総合判定A・Bの割合についても、従前値と比較して男子でR3年度で18.89%、女子で38.89%改善、R5年度で男10.63%、女39.13%改善となっており、目標値と比較すると男子50.40%、女子105.19%の達成度となり、女子においては目標値である全国平均を上回った。多くの指標において、目標値の達成は敵わなかったものの、屋内遊び場の整備により、子どもたちの遊び・運動機会の創出が図られ肥満傾向児童の割合が減少し、運動能力の向上が見られた。
- 屋内遊び場については、目標来館者数を26,000人/年と設定していたが、令和5年度において28,464人/年を達成し、開館後着実に来館者数は伸びている。

### 効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)(注2)

- 効果発現による目標達成には当該施設の活用継続と家庭及び学校等を含めた生活環境の改善指導も含め新規イベントの開催や施設運用方法等の対応が必要である。
- 常駐しているプレイリーダーにより、子どもの年齢や特性に応じた遊びの提供や運動の提案を積極的に実施し、さらなる子どもたちの遊び・運動機会の創出と、体力・運動能力向上を図る。
- 新たなイベントの企画、開催により安定的な来館者数の維持及び新規利用者の拡大を目指す。

(注1)様式1の(2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の(2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。

### 【事業詳細】

#### (1) 事業概要

天候や空間線量、大型車両等に関する不安に左右されず、安心して子どもたちが遊ぶことのできる屋内遊び場を整備することで、子どもの運動機会の確保と運動習慣の定着による体力向上を図る。

□施設名：富岡町地域交流館「富岡わんぱくパーク」富岡町大字小浜字中央384-3 構造：木造平屋建 延床面積：870.81㎡ 敷地面積：2,739.52

#### (2) 事業の実施状況

□工期：令和2年5月15日～令和3年2月26日 □完成日：令和3年2月26日 □利用開始日：令和3年3月28日

□利用状況：月平均利用者1,400名(年内来館者10,000人を達成予定)、小学生や子ども園児及び周辺市町村の親子が訪れ土日は100人前後が運動や遊びを楽しんでいる。定期的にイベントも開催(各イベント月1回～2回程度)しており、リトミック教室は人気が高い。(開館時間は10:00～18:00、毎週火曜日は休館日、利用料金は無料、月に1回全体的な清掃実施)

#### (3) 人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係

##### □人口の状況

##### 【実施前】

本町の震災前(平成23年2月末日)の住民基本台帳登録人口(以下、「住基人口」)は、15,960人(外国人除く)であったが、原子力事故により、依然として町内一部の地域の避難指示が継続されており、令和元年10月1日時点の住基人口は12,829人まで減少しており、前年同時期から307人減少している。

##### 【実施後】

令和3年10月1日時点の住基人口は12,085人となっており、前年同時期から394人減少しているが、解除済み地域の生活環境の向上により新しく町内に転入してくる子育て世帯数が徐々に増加、町内で生活する子育て世帯数は令和元年10月から令和3年10月までで倍増している。更に令和5年10月1日時点の住基人口は11,558人となり、前年同時期と比較し266人の減少と、人口流出の比率が減少している。

##### □肥満児童の割合<<富岡町回答>

##### 【実施前】

小学校1年生から6年生までを対象とした、平成26年度の健康診断の結果、「肥満」と診断された生徒の割合は、男子53.33%、女子37.50%となっており、長期にわたる避難生活、運動機会の喪失により肥満生徒の割合が多くなっている。

##### 【実施後】

小学校1年生から6年生までを対象とした令和3年度の健康診断の結果、「肥満」と診断された生徒の割合は、男子30.00%、女子31.58%、令和5年度の健康診断の結果は、男子26.67%、女子15.00%と、運動機会の増加により年々改善が見られる状況となっている。

##### □体力テストの総合評価

##### 【実施前】

小学校1年生から6年生までを対象とした平成26年度の体力テストの総合判定A・Bの割合は、男子11.1%、女子0.00%となっており、震災前と比較して運動能力が低下している。避難による運動機会の減少が子ども達の体力低下などに顕著な影響を与えている。

##### 【実施後】

小学校1年生から6年生までを対象とした令和3年度の体力テストの総合判定A・Bの割合は男子30.00%、女子38.89%となっており、令和5年度においては、男子21.74%、女子39.13%と、運動機会の増加により運動能力の改善が図られた。

#### (4) その他

##### □利用者の声(施設を利用した保護者)

まだまだ、放射線や大型車両が不安で自由に外で遊ばせることに抵抗がある中で、安心して子どもを遊ばせられる施設があることは非常に有難い。新型コロナウイルスの感染拡大もあり、消毒や清掃に気を使っていることも評価できる。

##### □外部評価①(にっこりこども園長)

子どもも大人も周辺の環境や天候を気にせず思う存分遊べる環境が町内に整備され、今後の子ども達の運動能力向上や遊びの機会の増加に期待している。こども園としても、定期的に利用開始し、普段とは異なる環境で楽しむ姿に子ども達の新たな一面や教育、保育への課題などを見出すことが出来、今後も積極的に活用していきたい。



三輪車コースで楽しむ



町立認定こども園の団体



遊び・運動・想像の複合